

事務事業チェックシート

事務事業No

事業名

[事業基本情報]

13

眼疾患予防事業

[長期総合計画]

分野別目標	4	誰もが安心して住み続けられる持続可能なまち
政策	7	健康で元気に暮らせる環境づくり
施策	1	健康づくりの推進
取組方針	1	生涯を通じた健康づくりの推進

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・ 予算区分	会計		一般会計	
	款		衛生費	
	項		保健衛生費	
	目		眼疾患予防費	
	大事業		眼疾患予防事業	
中事業		眼疾患予防事業		

事業種別	継続		関連個別計画			
事業年度	無し	～	無し	担当課・担当課長・Tel	総務企画課	山田原尚生 488-5102
事業実施の根拠法令	眼疾患予防事業実施要項		関連課			

1 事業内容

事業目的	(「誰・何」をどういう状態にするための事業か)			全体事業概要		
	眼疾患を予防する。			眼疾患を予防するため、眼疾患予防所を運営する。		
事業内容	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和02年度	令和03年度	
	・非常勤看護師による洗眼及び予防知識の普及に努めた。 @・眼科医による診察及び指導。	看護師による洗眼及び医師による回診により眼疾患の予防に努める。	看護師による洗眼及び医師による回診により眼疾患の予防に努める。			

2 事業コスト

事業費等(千円)	平成29年度		平成30年度		平成31年度		令和02年度		令和03年度		
	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算	
事業費	2,064	1,914	2,064	1,734	1,638	1,620	0	0	0	0	
伸び率(%)	1.3%	△5.5%	0%	△9.4%	△20.6%	△6.6%	△100%	△100%	0%	0%	
人件費	正規職員	1,835	2,074	2,158	1,599	2,417	2,497	0	0	0	0
	正規職員以外	1,424	1,823	831	831	890	890	0	0	0	0
	小計	3,259	3,897	2,989	2,430	3,307	3,387	0	0	0	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
県支出金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
市債	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
一般財源(税等)	2,064	1,914	2,064	1,734	1,638	1,620	0	0	0	0	
所要人数(人)	正規職員	0.23	0.26	0.27	0.20	0.30	0.31	0.00	0.00	0.00	0.00
	正規職員以外	0.57	0.73	0.35	0.35	0.39	0.39	0.00	0.00	0.00	0.00
主な予算内訳	非常勤報酬1344千円、報償金540千円										

3 目標及び実績

活動指標	指標名	単位		平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和02年度	令和03年度
				目標値	実績値	達成度(%)	目標値	実績値
実利用者数		人	目標値		70	70		
			実績値		68	46		
			達成度(%)	0%	97%	92%	%	%
延利用者数		人	目標値	2500	2500	2500		
			実績値	1770	1599	1382		
			達成度(%)	71%	64%	55%	%	%

4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか		増加している		横ばい	○ 減少している
[妥当性]事業手段は妥当か		現行の手段でよい		一部見直しが必要	○ 見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か		市が行うべき		他の主体との協働も可能	○ 市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要があるか		急いで取り組む		中長期的に取り組む	○ 緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか		できる	○	あまりできない	できない
[有効性]成果目標ほどの程度達成しているか		達成している (90%以上)		おおむね達成 (70~90%未満)	○ 達成していない (70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度		重要かつ高い貢献度がある		一定の貢献度がある	○ 貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか		できない		制約はあるが可能性はある	○ できる
[効率性]受益者負担の見直し		適正		負担は求められない	○ 見直しが必要

5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実				
	現状維持				
	縮小				
	廃止	○			
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	眼における感染症予防を行ってきたが、利用者も減り、十分な成果を残せた。
見直し・改善内容	利用者が必要としているものを把握し、充実させていく。